



社会医療法人近森会

発行 ● 2012年7月25日

# びろっば 8

Vol.313

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 川添昇

## 近森病院北館病棟に開設した SCU (脳卒中ケアユニット) 病棟について

### “Time is brain.” の実践に向けて

近森病院神経内科  
主任部長 山崎 正博



▲ SCU 病棟

脳卒中診療のポイントは“Time is brain.”といわれるように、時間との勝負であり、t-PAによる血栓溶解療法開始も発症後3時間以内とされている。

急性期脳卒中患者では麻痺や嚥下障害など多くの症状が見られることから入院時より医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士など多職種が関わって包括的にケアを行うことが重要であり、各職種によるチーム医療を実践する専門病棟として SCU 病棟が開設された。

神経内科医は3名で脳外科と協力して入院診療に24時間対応している。発症後数日して受診する患者も多く見られ、TIA(一過性脳虚血発作)を含め脳卒中が疑われる時は救急車で SCU 病棟のある当院をすぐ受診する、など今後市民への脳卒中の啓発活動を積極的に行い、地域の先生方には各種機会を通じて SCU 病棟開設と診療内容を紹介していきたいと考えています。

やまさき まさひろ



▲ SCU 病棟のスタッフステーション

初めてですし、大学以外では数少ない設置です。近森病院には ICU、CCU、救命救急病棟、HCU とさまざまなタイプの集中治療病床が存在しますが、これから第一線の病院における SCU のあり方を近森病院が作り上げていかななくてはならないと考えています。

たかはし きよし

### 集学的アプローチで 患者第一の治療を

近森病院脳神経外科  
部長 高橋 潔



長年の懸案であった「脳卒中ケアユニット」が稼働し始めました。脳卒中の患者さんを集学的に治療することにより治療成績を上げようというコンセプトです。

脳内出血やアテローム血栓性脳梗塞、脳塞栓症などの治療では一般病棟より良好な予後が期待できるとされます。メリットは二点あります。まず脳卒中に対して外科、内科両方からのアプローチが可能でよりエビデンスのある患者第一の治療が選択できること。もう一点はマンパワーの充実です。

毎朝、前日の新規入院患者や前日の画像診断などを観ながら神経内科医だけでなく多職種でカンファレンスを開いています。これまでよりスピードのある治療が展開できるようになったと感じています。

またチーム医療が進展すると共に転

倒転落や合併症予防などに効果を発揮し始めています。SCU 病棟は高知では

### 「新シリーズ！」メディカルスタッフ・ワークウェア 2

- 薬剤師 モデル 明神有希さん
- 研修医 モデル 瀧内りり子さん

背中には自分たちが作成したロゴマークが



抗菌薬、輸液、腎機能に注意が必要な薬剤等の一覧表  
薬剤などの一覧表やポケットガイドを活用して、適正な投与量、投与速度など、医療スタッフからの質問に迅速に対応。新薬などの情報を書き留めるためのメモ帳。はさみは意外にも調剤時には必要不可欠。最近はより積極的に患者さんの状態を把握するために聴診器を持ち始めた。

近森病院研修医 マニュアル  
研修中の診療科のハンドブック

ポケットはパンパンに詰まっている。ペンライトや学び、実践のための本を多数所持。ポケットサイズのメモ帳には、研修で学んだことがぎっしり書かれているし、受持患者さんの経過も常に念頭に入れている。スケジュール帳で自己管理も。

# アナログから デジタルへ

近森病院循環器科

部長 深谷 眞彦



世界最速（注：最近米国に抜かれて2位に）のスパコン「京（けい）」が信じられないほどの膨大な情報を処理する時代、また、高度な学習能力や知力さえ獲得してチェスやクイズといった限られた範囲ではスパコンが最高峰の頭脳に勝利する時代にあって、これらの医療への導入も研究され急速に進行しているようだ。

複雑で膨大な医学的情報をもとに患者情報を瞬時に処理し、医師に代わって診断や治療に導く時代が来るのかもしれない。コンピュータの急速な高性能化を見るとき、それはもしかすると眼前に迫っているのかもしれない。

また、長年修練を積んだ医師の技能を凌駕する手技を行う機器も実際に現れ使用されている。研修医が指示しても心臓の中や血管の中をベテランにさえできないほどの正確さでカテーテルを進めることができたり、などである。

大なり小なり現在はコンピュータ抜き医療はなく、我々はデジタルの時代を生きている。医学は医療はどこまで進歩していくのか、その加速度的に急激な進歩の時代にあって、我々はそのあるべき姿を問われるようになってくるだろう。しかし、私が医師になった1968年には一般社会にはコンピュータはなかった。もちろん電卓はなく計算は計算尺や機械式であったし、紙とペンが全盛の時代であった。

心臓カテーテル検査も大学など一部の大病院でしか行われておらず、心臓血管造影はフィルムの高速連続撮影写

真を撮影した。当時最先端の冠動脈造影も連続写真であった。ペースメーカー植込み治療はまだ黎明期で、写真のように大型かつ水銀電池寿命は30カ月というものであった。内部の回路や電池が透けて見える手造り感あるペースメーカーであった。

心エコーもまだ臨床の現場に現れておらず、CTやMRIなどももちろん無かったし、これらが3次元画像で示される現在を想像だにできなかった。私の専門とする心臓の観血的な電気生理学的検査はまだその卵も現れていなかった。各種の不整脈のメカニズムは頭で考察した推論のみであったし、当然ながら治療法に確立したものはなく、現在の進歩した診断法や治療法は想像す

らできなかった。

私の医師の出発点はこのような無コンピュータの時代であったが、卒後数年を経ずして次々と新しい機器が出現し始め、医療の現場は急速に進歩した。コンピュータ導入なくしてはあり得ない進歩である。そして進歩の傾斜は年々急になっておりこの10数年の傾斜の増大は特に大きいように思う。

近、現代医学の進歩について語られることは多いが、コンピュータ導入の前後、すなわちアナログからデジタルへの変革と進歩は異次元の世界への扉を開けての変革と進歩といってもよく、この時代に関わって医師として仕事できたのは幸運というべきだろうと思っている。 ふかたに まさひこ

## 第23回スープサービスを開催しました



# スープ、ボン・ファミ

スープサービスプロジェクト責任者

近森病院副院長 北村 龍彦

食こそ命の源である。素材にまでこだわった“いのちを繋ぐスープ”を患者さんにお届けしたい。その思いから始まったスープサービスプロジェクトは、辰巳芳子さんを始め、パレスホテルの社長、総料理長など様々な方にご協力いただきながら今回で23回目を迎えました。

今回のスープ、ボン・ファミは「よい女性」という意味で、老若男女全て



の方を包み込むようなスープだそうです。材料は、じゃが芋、玉葱、人参、セロリと野菜たっぷり。そのうち、じゃが芋と玉葱は本山町の山下農園、山下一穂さんが育てた無農薬有機農法のものを使用しています。

患者さんへのスープ提供は病院別に6月25日（エームサービス）、26日（グリーンハウス）で行いました。味についてはより女性の方にご好評いただいた印象です。

次のスープサービスは9月に開催する予定です。お楽しみに！

きたむら たつひこ

## 8月の歳時記

絵・総務課広報担当  
公文幸子

### 朝顔

高知メンタルリハビリテーションセンター  
地域生活支援センターこうち

徳満 鮎美



朝顔は日本で古くから親しまれている、つる性の1年草で、原産地は熱帯アジアと熱帯アメリカです。花の色は紫、紅、藍などあります。余談ですが、幼少時に遠方に住む祖母が朝顔の柄の浴衣を買ってくれ、それを着て家族で花火をしたことがあります。花言葉の「私

はあな たに結びつく」とあるように、人と人とのつながりをこれからも大事にしたいと思います。とくまん あゆみ



## 看護部 キラリと光る看護 part2

### あいさつ、 ことば、 こころ

近森病院第二分院  
看護部長  
松永 智香



「はい」「いいえ」「おはようございます」「お疲れ様でした」「ありがとうございます」「失礼します」「すみません」「よろしくお願いします」。近森会グループの職員になって最初に受ける研修のひとつにPS研修があります。私が勤務している第二分院のなかでは、敬語での会話が主流です。

患者さんやご家族、医療スタッフとの言語的コミュニケーションのなか

で、「ハ・イ・オ・ア・シ・ス・ヨ」のことばは頻繁に使われています。第二分院の看護部長として、敬語での会話は基本であると考えています。しかし、いくらきれいなあいさつやことばでもこころがなければ、上手く通じ合わないことがあり、こころは表情や態度に形を変えて表面に出てきます。

第二分院の看護師たちは、ツールとしてことばを使うことがあります。べ

テランになるとその人に応じたことばを選択し、ケアができるようになります。もちろんそのことばには、「早く良くなってね」という思いを形にしたことばに、表情や態度がくっついていきます。

この4月から3名の新しい主任が誕生しました。精神科スタッフたちが感じている彼らの共通した特徴は、「丁寧さ、細やかな気づかい、思慮深さ、優しさ、落ち着き、柔軟性、頼りがい、安定さ、相談のしやすさ、傾聴力、和ませ力、包容力、コミュニケーション力」などです。

これらの要素はひとつのことばを幾通りもの形に姿を変え、患者さんやご家族、医療スタッフたちとの関係性につながっています。これからもずっと大事にしていきたいですね。

まつなが ともか

## ザ・RINSHO 2 臨床検査部



### 輸血検査室の 現在と過去を比べて

近森病院臨床検査部輸血検査  
主任 米澤 眞理子

輸血では、血液型の検査や副作用を防止するために行われる輸血前の交差適合試験、血液製剤や患者さんから採血した自己血（自分の血液であるため輸血副作用を100%予防できる）の保管管理を行っています。また、患者さんの立場に立った輸血医療を目指しています。

輸血部門ができたころは、担当技師1名で試験管で機器を使わない検査を行っていましたが、2000年7月に心臓血管外科が開設されてからは輸血検査が一変しました。緊急輸血や大量輸血に迅速に対応する検査体制の整備をはじめ、輸血の安全性の向上が求められることになりました。

時間外は検査技師全員で輸血検査を行なうため、専門の技術と知識のレベルアップが必要となり、迅速かつ適切な対応ができるように、研修を行いました。2006年8月には、輸血管理システムと全自動輸血検査装置を導入し、検査の標準化と効率化、そして安全性のさらなる向上を図ることになりました。

現在は手術件数が増加し、緊急手術の増加に比例して血液使用量も伸び、

輸血製剤使用量は高知県内で第3番目

### 公開空地



近森 正幸

「こうかいくうち」と読む。社会医療法人近森会の5カ年プロジェクトで、新たに建てる建物の周囲を一般に開放し、通行や休憩が自由にできる空間を提供しようと、「公開空地」の制度をとりいれた。

これにより容積率が緩和されるが、それよりも敷地いっぱいに建物や塀などをつくらずに、病院に勤めているスタッフだけでなく、地域の皆さんに安全で快適な空間を提供することが大事なのではないかと考えた。

となり、担当技師3～4名で検査を行なっています。

2011年5月に近森病院救命救急センターが開設され、緊急輸血が増加しました。院内でO型超緊急輸血の手順を取決めて輸血マニュアルに入れるなど、三次救急のたいへんさを感じています。

よねざわ まりこ

スペースを確保して木を植え緑を増やすことで、病院の建物のなかの医療だけではなく、患者さんやご家族に、少しでも心をなごませてもらえる空間が必要なのではないか。そうすることで、高知ではあまり見かけないような町並みができたとと思う。

朝の光の下で空間がパッと広がるような開放感、黄昏どきにライトで照らされた木々、風にゆれる木葉を感じながら、歩く楽しさを味わった。

木を植え始めたのは24年前のリハ病院が最初で、敷地は限られていたが周辺に出来るだけ木を植えることにした。4年後の新館建設の際は初めて南側に広いスペースをとって、本格的にケヤキを植えることができた。

近森会の建物周辺の緑は、最近植えた江ノ口川北岸を含むと、ケヤキやシマトネリコ、アメリカハナミズキなどおよそ130本になる。2年後に本館が完成するとさらに空地は広がり、近森会がいずれ「樹木に囲まれた病院」になることを夢見ている。

理事長・ちかもり まさゆき

今回、回復期リハビリテーション連絡協議会開催の看護・介護研修会に『看護・介護の協働』をテーマにシンポジストとして参加しました。

## 研修会に参加して

近森病院リハビリテーション病院  
2階東病棟看護師長 南 和芳

看護と介護の違いについて、互いの倫理綱領では「看護師は健康な生活を実現して、その人の生を全うすることを目指す」「介護福祉士とは、住み慣れた地域において、心豊かに本人が望む暮らしを続ける事を目指す」と示されているという話があり、私は当院の

理念が頭に浮かびました。

看護師は「健康の安定」を図り、介護福祉士は「生活の安心」に関わり、その二つがそろって初めて患者さんの日常が潤うという話があり、看護と介護が協働する意味



を深く感じました。リハ病院では看護師も介護福祉士も同じ看護計画で日々の業務や患者の受け持ちを行っています。だからこそ、相手の職種を理解して、お互いの役割を発揮し合いながら、質の高いケアの実践に繋がっていきたいと感じました。

今回、資料を作成し発表する過程において私自身大変勉強になり、協働についての課題と、師長としての課題が明確になりました。

みなみ わか

## 小粒だけど重要な別館です

診療支援部  
企画課課長代理  
奥田 興司



近森病院整備 5 年計画の 5 番目の建物である「管理棟別館」が新館北側に 7 月 1 日完成しました。この建物は旧医局棟と旧管理棟別館を解体し、およそ 7 カ月という短期間で稼働することとなりました。

この建物は、今までの四つの建物からすると小規模ではありますが、たいへん重要な役割を担っています。

今秋にも立て替えが始まる本館施設の受け皿として機能し、本館解体中には新館への電力供給もする建物です。

1 階には医療廃棄物保管庫やゴミック（ゴミ圧縮・貯溜システム）などが設置されます。また、職員用の通用口も併設されており新館へのアプローチが容易となります。2 階は施設管理センター、解剖室、霊安室があり、3 階には CE、CS 室と ME 主任室、治験センター、医療安全管理室があります。当直室や休憩室も用意されています。

建設中は騒音や振動など、ご迷惑をお掛けいたしました。引き続き 8 月には新館改修工事（1～4 階）も完成となり、本格的に本館から新館への移動が開始される予定です。今しばらく患者さんやご家族の方にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願ひします。

おくだ こうじ



## 研修会に参加して

近森病院リハビリテーション病院  
2階東病棟介護福祉士主任補佐 寺川 幸

介護福祉士は、他の専門職のように特定の分野を扱うものではなく、すべての生活を支援するものであり、在宅支援を行うに当たっては見守る介護も必要であるという話がありました。私自身も看護と介護で患者さんに関わり協働を行うなかで、介護福祉士の役割について混乱することもありました。

今回、介護福祉士の役割について再



確認したことを、スタッフにも日々の業務や伝達講習を通して、伝えていきたいと思っています。シンポジストとして参加したことで、協働について深く考える機会となり、研修での学びを活かして介護福祉士として活動していきたい。

てらかわ さち

## 職員旅行（初の職員企画が実現！）

### 富士山頂で感動のご来光！

近森病院 CCU 病棟  
看護師 松田 陽平

富士山頂で御来光を浴びながら



7 月 10 日、集合写真撮影時間午前 4 時 40 分、気温 3℃、参加者の平均 SpO2（血中酸素飽和度）70～80 台、HR（心拍数）100～120 台（サチレーションモニターは Dr の私物！）こんな過酷な場所は……（ヒント、トイレ一回 200 円・ペットボトル水 500 円・カップラーメン 600 円など）。そうです、ここは日本最高峰 3776 m の富士山山頂。

2 年前から始めた山登りで四国の山々を巡り、いつかは富士山！と思い院内旅行で企画させていただきました。高山病や梅

雨時期の悪天候も覚悟の上での登山でしたが、日本で一番高い特別な場所に、自分の足で辿り着いた喜び、参加者 15 名全員で見た感動の御来光、かけがえのない時間を過ごすことができました。

危険が付きものの登山を許可してくれた近森理事長、一緒に登ったメンバー、励まし続けてくれたガイドさん、すべての方々に感謝感謝の富士登山でした。ちなみに今回の山ガイドさんは、ウルトラトレイルマウントフジ 100 マイルで女子総合 2 位になった、鈴木博子さんという超有名人な方でした。まつだ ようへい 青木ヶ原東入り口の鳴沢氷穴



## マンモグラフィ(乳房X線検査)を導入

# 極早期の乳癌を 発見することができます。

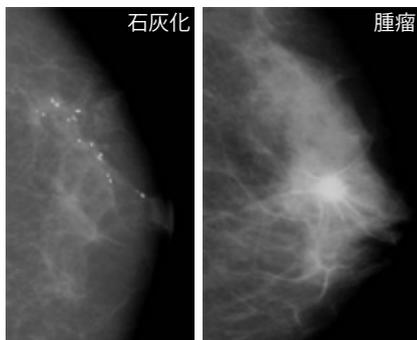


近森病院外科部長  
田中 洋輔

## マンモグラフィが必要なわけ

乳癌は近年増加していて、日本人女性罹患率第1位の癌となり、日本人女性の20人に1人が発症するという報告もあります。これは、食生活の欧米化、女性の妊娠出産回数が減少したこと、などの影響と考えられています。

乳房に塊やしこりがある場合、乳房超音波検査やMRI検査を行なって乳癌かどうかを調べますが、マンモグラフィはしこりになっていない極早期の乳癌を発見することができます。これは、乳癌に特徴的な微小な石灰化を写し出すことができるためです(下の画像を参照)。



微小な石灰化の検出に関しては、他のいかなる検査もマンモグラフィに及びません。当然のことながら、このような早期で発見された乳癌は治癒が望めます。

## マンモグラフィ検診の効果

乳癌による死亡をマンモグラフィ検診で低下させられるか、を検討した海外の科学的研究では、マンモグラフィ検診をしないグループに比較して、乳癌死亡率を50歳代で14%、60歳代で32%低下させたと、報告されています。

マンモグラフィは40歳代から検査しますが、乳房が脂肪化する50歳以上でとくに有用です。また、乳腺が全体的に硬い方、しこりはないが乳頭から血液が出る方の検査にも有効

です。

## 身体への影響はほとんどありません

マンモグラフィによる放射線被曝は乳房に限定されるため、1回の撮影での被曝量は、通常の生活で1年間に受ける自然放射線量の約50分の1程度とされています。

## 女性スタッフが対応します

近森病院では、女性の放射線技師が撮影しています。日本乳癌学会乳腺専



撮影にあたっては女性放射線技師が対応します。写真は西森美千代技師



微小な石灰化の検出に関しては、他のいかなる検査もこのマンモグラフィには及びません

門医が撮影画像をご説明します。当院の場合、医師が検査を必要と判断した場合に検査を行うことにしています。

たなか ようすけ

## 院外エッセイ

### 「樹のお医者さん」と呼ばれて

濱田 吉成 樹木医

はまだ よしなり 1939年南国市岡豊町生まれ。東京教育大学農学部卒。中越パルプ工業(株)に11年間在職の後高知にUターン、入交造園緑化建設(株)ほかで取締役技術部長、平成12年より現職専従。一般社団法人日本樹木医会副会長・高知県支部長、高知県文化環境アドバイザー



樹木医としてフィールドワークにでると、この木の樹齢はどれくらいですか、あと何年ぐらい生きられますか、とよく尋ねられます。樹にはさまざまな種類があって、寿命もまちまちです。

日ごろなじみ深いスギやクスノキは結構長生きする樹で、樹齢5~600年のものは日本国中にたくさんあります。同じ樹でも何百年もの長生きは条件次第というところもあって、①長生きできるDNAを持っていること、②生命活動に欠かせない良好な立地環境(空気、水、土壌)のもとにいること、③気象害、病・虫・獣害、公害といった危害(ストレス)が少ない、またはその抗体を備えていることなどが、長寿をかなえるための不可欠の要件といってもよいでしょう。

樹木は生き物です。呼吸もしますし、水や養分の吸収もします。また何らかの「意思」を持って周りの環境に体を順応させることもできます。これは私たち「ひと」と同じだと思っています。

違うのは人間が聞き取れる言葉を話せないことと、歩いて移動することができないことです。

寿命を全うさせる要因を改善し整えるために、樹をみる(見・観・診・看=樹の姿を見て、観察し、診断・治療し、そして生命を看とる)のが樹木医のごとを考えています。

樹を「伐る」ことから「育てる」ことに長年従事してきました。そして樹木医の資格認定を受けて20年、樹を「護る」ことに人生の残り火を燃やすことになりました。

樹の診断・治療、育成・保全という業務は、とてつもなく広範な専門的知識と技術が求められ、世間的には樹木医さんならこれらに関することはすべて知っているものだと受けとめられますから、対応に逡巡させられる場面も少なくありません。

まだまだ研修医、みなさんの期待を裏切らないよう、喜んでいただけるよう、精一杯努めています。

第108回日本消化器内視鏡学会四国地方会  
研修医優秀演題賞を受賞



村岡先生

鈴木先生

近森病院消化器内科 鈴木 美香

体調不良のため急遽村岡先生に発表をお願いし、賞までいただきました。演題「狭窄型虚血性小腸炎に対してダブルバルーン小腸内視鏡にてバルーン拡張術を施行した一例」で、いままでは手術例がほとんどだった狭窄型虚血性小腸炎という小腸の疾患に対して、手術ではなく内視鏡的に診断・治療を行った症例です。内科、放射線科、外科それぞれの診療科の連携があつてできた治療で、このような症例が評価されたことはうれしいことです。これからも近森病院のフットワークの軽さ、連携の良さを生かして日々の診療に励んでいければと思います。 すずき みか

Chikamori ★ Kitchen 18

とろーりオクラ丼

夏真っ盛り。みなさん夏バテなどはいかがですか？夏が旬の食材、オクラをたっぷり使った丼のご紹介です。オクラのネバネバの成分は、整腸作用や、蛋白質の吸収を助ける作用があります。夏バテで食欲がないとき、胃や腸にやさしいオクラ丼をぜひどうぞ。

材料 (1人分)

ごはん	180g
いりごま	小さじ1
大葉	2枚
めんつゆ (3倍)	大さじ2
いかそうめん	50g
オクラ	7本
つぼ漬	15g
梅	10g

臨床栄養部管理栄養士  
主任 内山 里美



色も鮮やかな「とろーりオクラ丼」



<作り方>

オクラはゆでて小口切りに、つぼ漬けと梅は細かく刻んでおく。大葉は縦半分に切り、細切りにしておく。ごはんにいりごま、大葉を混ぜ、丼に盛る。

上にかき揚げ、おくら、つぼ漬、梅を盛り付け、上からめんつゆをかけてできあがり。

うちやま さとみ

お弁当拝見 6 愛妻弁当→ついで弁当



近森病院麻酔科部長  
畠中 豊人



結婚して以来ずっとお弁当である。最初は「愛妻弁当」と冷やかされながら、子供たちが学校へ行くようになると「ついで弁当」と言い訳をしながら。家内の作るお弁当を食べ続けて20年は遙かに過ぎ、3人の娘たちは大学生と高校生、私たち夫婦はそろそろ銀婚式という今でも、まだ子供たちと一緒にお弁当を作ってもらっている。

家内にはひたすら感謝の日々である。私にできるせめてもの恩返しは、お弁当

箱の底にご飯粒の痕跡を残さないように、きれいに洗って帰ることぐらいだろうか？

子供たちの方も最近は、お弁当作りや晩ご飯作りのピンチヒッターを時々務めては、それなりの恩返しをしているようである。まったく見たことのないレシピでも味付けやメニューの組合せが、どことなく似て来ているのが面白い。

そんなに遠くない将来、彼女たちの作るお弁当を食べさせてもらえるのはいった

- ※お弁当のメニューは
- ①サケとキノコのホイル焼き
  - ②トマトとアスパラガスのミニサラダ
  - ③ブロッコリーのガーリックパン粉炒め
  - ④卵焼き、梅干しとご飯

いどんな男性なのだろうか。ちょっぴり心配な今日この頃である。

はたけなか しげと

図書室便り (2012年6月受入分)

- ・頭頸部のCT・MRI 第2版 / 多田信平 (監修)
- ・OS NOW Instruction 整形外科手術の新標準 22 頸椎の手術ベーシックからアドバンストまで必須テクニック / 馬場久敏 (担当編集)
- ・腎癌診療ガイドライン 2011年版 / 日本泌尿器科学会 (編集)
- ・形成外科ナーシングプラクティス 褥瘡から美容まで / 大竹尚之 (他編集)
- ・からだの地図帳 / 高橋長雄 (監修・解説)
- ・呼吸機能検査ガイドライン スパイロメトリー、フローボリューム曲線、

- 肺拡散能力 / 日本呼吸器学会肺生理専門委員会 (編集)
- ・二級臨床検査士、緊急臨床検査士資格認定試験問題集 2006-2010年版 / 日本臨床検査同学院 (編集)
- ・抗菌薬の考え方、使い方 ver.3 / 岩田健太郎 (他著)
- ・ズバリわかる 200 キーワード重症集中ケア / 道又元裕 (監修)
- ・そのまま使える！ 図解説明 社会保障制度指さしガイド / いたう総研 (編集)
- 《別冊・増刊号》
- ・別冊医学のあゆみ DIC - 診断・治療

- の最前線 / 坂田洋一 (編集)
- ・月刊 Medical Technology 別冊 超音波エキスパート 13 肝臓の造影超音波検査 / 西田睦 (他編集)
- ・日本医師会雑誌第141巻 特別号 (1) 生涯教育シリーズ 82 小児・思春期診療最新マニュアル / 五十嵐隆 (監修)
- ・Nursing BUSINESS 2012年夏季増刊 新時代の看護マネジメントとリーダーシップ / 下山節子 (他編著)
- ・Emergency Care 2012年夏季増刊 救急看護に必要な疾患の知識 これだけBOOK / 大友康裕 (編集)

## 3.11、 被災地で経験したこと

近森病院循環器科  
科長 要 致嘉



左から前列3人目が遠藤先生、後列3人目が著者。主催コヤジの会一同

6月15日金曜日に近森病院第97回地域医療講演会を「コヤジの会」の主催で、岩手県立大船渡病院循環器科科長の遠藤浩司先生をお迎えして「被災地病院の医師としての経験」と題する講演をしていただきました。

2011年3月からすでに1年半が経とうとしています。医療人ならずとも多くの人が「自分ならどうする、自分なら何ができる」と自分自身に問いかけたものと思います。

遠藤先生は岩手県一関市出身で、岩

手医科大学病院の医局から大船渡病院に赴任されているそうです。

ある日突然、想像を絶するような災害に直面したとき、「自分にできること、医療人としてできること、医療人としてしなくてはならないこと」を、3.11から現在まで

東日本大震災での経験を講演中の  
遠藤浩司先生



被災地病院の医療人として経験してきたことを講演していただきました。

とくに、「常に防災意識と緊張感を持って日常を営む」ことが、緊急時に大切であるとお話されました。「何ができるか」ではなく、「できることは全て職種にとらわれず積極的に行動に移す」姿勢が何よりも大事と話されたことが印象的でした。

かなめ のりよし

## ポリオ検診にさきがけて

近森病院リハビリテーション病院  
リハビリテーション科科长

和田 恵美子



10月20日(土)に、近森リハビリテーション病院で、ポリオの患者さんの検診会を四国ではじめておこなうこ

とになりました。検診会にむけてポストポリオ症候群について解説をさせていただきます。

ポリオという病気は日本では1981年以降ほとんど発生がなく「60年ぐらい前に多数の運動麻痺患者を発生させましたが、その後のワクチン接種でほぼ撲滅された病気」として認識されています。最近はワクチンが生ワクチンなのかどうかで話題になるくらいで、医学生も予防接種以外では勉強することがありません。

しかし幼少期に麻痺がでて、その後の訓練などで麻痺を克服したり、装具もいらずに普通の生活をしてきた方なかで、中年期以降に麻痺が再度でてきたり、疲れやすくなったりすることがあります。それがポストポリオ症候群です。せっかく獲得した機能がふたたび落ちてしまうとみなさん一生懸命運動量を増やしたりしますが、実はそれが逆効果になってしまうことがあります。

ポストポリオ症候群の進行を防ぐためにもぜひポリオ検診会で今のお身体の状態、装具の適応など相談に来てみてください。 わだ えみこ

● ポリオ検診のお問い合わせは ●  
近森リハビリテーション病院  
医療相談室 川津 TEL.088-822-5231(代表)

### 新シリーズ・ワイン講座 ● 2

## アルザス地方のワインについて

有限会社鬼田酒店  
代表 鬼田 知明



ドイツとの国境に位置していて、戦争のたびにフランス領やドイツ領になった特殊な土地です。そのような歴史的背景から、アルザス人しか分らないアルザス語があり、現在でもさまざまな面で、とくに食と住いに関しては、ドイツ色が濃く残っています。

また、アルザスはフランス国内でも美食の地として知られ、ミシュランの



左の白ワインは、ピノ・グリ  
右の赤ワインは、ピエール・フリック  
どちらも、フルーティーで爽やか、さっぱりと飲めます。この暑い時期にはびつたりのワインです。

星付きレストランの数がいちばん多く存在します。この地の人たちは、ジビエなどの肉でも白ワインで食べる習慣があり、その代表がフォアグラ料理との相性で、実に妙味です。

さて、アルザスは生産される量のほとんどが白ワインで、赤ワインは10%にも満たない量です。特徴はぶどう品種がそのままワイン名になったり、表示されていることが多く、ぶどうの個性を知ると分りやすく選び易く、日本人の味覚にとってもマッチするタイプのものが多くあります。ぜひお試しください。

きだ ともあき

# 脳卒中地域連携パスが改定されました！



「2012年度脳卒中連携パス改定説明会・講演会」で講演中の高知医療センターの名誉院長堀見忠司先生

近森リハビリテーション病院  
4階西病棟看護師主任 和田 絵美



6月24日(日)こうち男女共同参画センター「ソーレ」にて、第17回高知中央医療圏脳卒中地域連携の会合同会合「2012年度脳卒中連携パス改定説明会・講演会」が開催されました。

最初に司会も務めた当院脳神経外科高橋潔先生より今後のパス運用についての話があり、その後各ステージの説明が行われました。

今回、当院が回復期の改定を担当し、改定メンバーと熟慮の上完成させた、自信満々のパスを、私が微力ながら発表してまいりました。他の急性期、維持期、かかりつけ医のパスも完璧な改定がされ、無事参加者からの賛同も得て、7月から新しい脳卒中地域連携パスでの運用が開始されました。

また、講演会では高知医療センター名誉院長堀見忠司先生による「高知県の地域連携について」と題して公立病院の経営立て直しを図ったお話を、大変興味深く聴講させて頂きました。

今後も新しくなったパスで、より良

い連携が図られていくことを願っています。  
わだ えみ

## お知らせ

◆第99回地域医療講演会 「片麻痺への促通回復療法の理論と治療成績—効率的な神経路の再建/強化を目指して—」

日時:平成24年8月21日(火)

18:30~20:30

場所:近森病院管理棟3階会議室

講師:鹿児島大学大学院医歯総合研究科

リハビリテーション医学 川平和美教授

◆第100回地域医療講演会 「医療経済学者から見たアメリカの看護・日本の看護」

日時:平成24年8月29日(水)

12:30~14:00 ※お弁当の持ち込みOK

場所:近森病院管理棟3階会議室2-3

講師:カリフォルニア大学デービス校医学部公衆衛生学講座 兪炳匡(ゆうへいきょう)准教授

◆第16回公開関係民講座

ハートセンター10周年記念講演

日時:平成24年9月9日(日)

14:00~16:00(開場13:30)

場所:高知市文化プラザかるぼーと

講師:岡山大学 森田潔学長

東京医科大学循環器内科 山科章主任教授

順天堂大学心臓血管外科 天野篤教授

近森病院循環器科主任部長 川井和哉

(順不同)

## 医師として 社会人として

整形外科  
小田先生友情出演



初期臨床研修医 古月 拓己

高知大学とのたすきがけシステムで1年間だけ近森でお世話になります。ここでは内科を中心に回る予定で、現在は循環器内科で研修をしています。国家試験に合格して3ヶ月くらい経ちますが、上級医、コメディカルの方々、同期、患者さんに支えられながら、日々奮闘しております。

研修生活というのはドラ○エ、F○に代表されるロールプレイングのようなものだと思います。色んな人に話しかけて情報収集したり、フィールド上を歩き回ってレベルを上げていく様に、病棟を回り、患者さんと接し、イベントに遭遇し、手技、知識を身につけることで日々成長していくものだと思います。

現時点での自分は装備も貧弱でレベル1くらいのステータスだと思いますが、ゆくゆくは「装備」も、「攻撃力？」もぴかーの医者になりたいと思っています。

病棟で見かけたらいつでも声をかけてください。でも整形外科の小田先生と間違えないようにして下さい。僕の方がイケメンですから(笑)。

こづき ひろき

## リレーエッセイ

### 大杯飲み干し大会 in どろめ祭り

高知ハビリテリングセンター

自立訓練部  
理学療法士  
森岡 香絵



ハビリに出向してはや一年が経ちました。5連続勤務と土日休みのリズムに慣れ、仕事と休日のメリハリがつけられるようになりました。

そんななか、4月29日に香美市赤岡町で開催された「どろめ祭り」に行きました。お目当ては新鮮などろめと、メインイベント大杯飲み干し大会への参加。高知に生まれたからにはいちは参加したいと思っていたものの、予定が合わなかったり、去年は東日本大震災の影響で中止となったりで、3年越しの目標達成となりました。

大杯飲み干し大会とは、赤岡の地酒「豊の梅」を、男性は1升(1.8ℓ)、女性は0.5合(0.9ℓ)を一気に飲み干すといった、高知県民でも7割が尻込みし、県外人な



2012年4月30日付高知新聞掲載(高知新聞社提供)

ら8割はドン引きするあの大会です。

PTの同期3人でエントリーしましたが、抽選に通ったのは私。事前の調査から10秒以内で溢さず飲めば優勝できると予想し、いざ1万人が見守る舞台へ。「ぐっと、ぐーっと!」の掛け声で大杯に食らいついたものの、思うように入らず14秒という結果に終わりました。入賞を逃し悔しがっていましたが、翌朝の高知新聞に写真が掲載されており、ある意味結果を出せたことに満足です。来年こそは酒豪博士の称号を狙います。 もりおか かえ

# 勉強すべきことがいっぱい、 毎日とても充実しています！

## 地に足つけて着実な毎日

高校時代まで愛媛県の今治市で過ごした梨沙さんが、高知学園短期大学衛生技術科へ進学したのは、就学年限の3年がちょうどの長さにも思えたこと、理数系が好きだったこと、そして、診断に欠かせない検査技師の仕事が貴重に思えたためだった。自分で調べて自分で進学を決めた。

優しい両親と仲よし兄弟三人の暮らしに何の不満があったわけではないが、「とにかく早く家を出て独立したい！と思っていた」という。なぜそんなに独立を望んだのか、いま考えても理由ははっきりしない。ただし、近森会に勤めて9年、相変わらず「地に足をつけてじっくり生きたい」という当時の希望に合う毎日を送っている。

## 医学雑誌に論文が掲載された！

最近、「心エコー」(文光堂)という心臓のエコー検査に携わる専門職が読む医学雑誌に論文が掲載された。日頃からお世話になっている超音波認定医の先生からの勧めがあり、窪川涉一部長の後押しもあり、執筆を決めたという。「謙遜でも何でもなく自信はなかった」そうだが、中岡洋子科長の「絶対断わってはダメよ～」のエールにも背中を押された。英語の文献の邦訳をはじめとして「先生方にホントにお世話になりました」と、感謝の言葉を繰り返す。梨沙さんのために忙しい業務の合間を縫って協力を得られるような人間関係が日頃からできているのだろう。

掲載論文「心タンポナーデ〜どのような所見が本症に特徴的か〜」の内容を素人がわかるようにと、できるだけやさしい言葉で説明してくれる。「心



病棟検査室、外来センター、北館で行なうエコー検査。きょうは外来センターの当番、3D画像を確認中



「金沢へ心臓血管エコーの勉強会に出席した夜はストレス解消に努めました(笑)」

タンポナーデ」とは心臓のまわりに水が溜まって心臓が窮屈になるため、心臓が十分に血を送り出せなくなる状態で、救急医療の現場では重要な病態なのだそう。この判断材料を提示したのが今回の論文だが、「教科書めいたことを書こうとすれば、自分が相当理解してないと」と、プレッシャーも強かったようだ。

## 超音波検査士の仕事の魅力

超音波検査士の仕事は超音波検査により自分の目で臓器の状態が確かめられ、しかも自分が映し出した画像を診断のために役立てられるのだから、喜びに繋がる。写し方によってその画像に説得力をより持たせられる。アバウトにその辺を写すというのではなく、臓器や血管の位置を正確につかみ、誰が見ても分かる画像を提供することを心がけているという。

臨床検査技師として近森会でいちば

ん最初に超音波医学会認定超音波検査士の資格を取ったことをお知らせしたのは5年前の『ひろっぱ』だった。症例を外へ向けて発信することもスペシャリストがやるべきことだといい、さすが主任というべきか、仕事への取り組みの丁寧さ、実直さが印象的で、その生真面目さに好感が持てる。

時代は益々専門性が問われるようになり、毎日ウカウカしては居られないと、ちょっとした緊張感を漂わせている風なもの、彼女をチャラチャラした今どきのおねえさんに見せない要因だろう。

## 元気の源

色々なことに挑戦するのは好きだけれど、今のところ「取りたてていうほどの趣味はない…」というのが悩みらしい。覚えるべきことが次々に出てくるし、勉強すべきこともいっぱいある。だから、退屈しているわけではなく、それに立ち向かうような毎日をワクワク過ごしていて、趣味に心を奪われる時間がなかなか取れないのだ。

それでも毎日充実しているし、年齢、職種を問わず仲よくしてくれる人たちがいることが、元気の源となっているそうだ。

## お知らせ

- ◆ 8月献血キャンペーン  
日時：平成24年8月31日(金)  
12:00～17:00  
場所：近森病院新館総合受付前

# Karibu Tanzania!

## INDEX

- 1) 今月の一枚「マサイジャンプ」
- 2) サファリ事情1「動物サファリ」
- 3) サファリ事情2「ザンジバル」
- 4) 病院でストライキ
- 5) 今月のスワヒリ語「スワヒリタイム」
- 6) NINAFIKIRI HIVYO「最近思うこと」



今月の一枚はマサイ族の村を訪問したときの一枚。噂のマサイジャンプはやっぱりすごかった。彼らのすごいところは持久力。同じ高さで長時間飛び続けることができます。高くきれいに飛べることが女性にもてる秘訣らしいです。

## 2) サファリ事情1「動物サファリ」

タンザニア、アフリカと聞いて何を思い浮かべますか。タンザニアでは野生動物を見に行くサファリができます。赴任からちょうど一年目でセレンゲティ国立公園とンゴロンゴロ動物保護区のサファリに行ってきました。

セレンゲティ国立公園のセレンゲティとは、マサイ語で「果てしない草原」という意味があります。この醍醐味はゲームサファリ。動物たちを求めて「果てしない草原」をランドクルーザーで走りまわります。ドライバー兼ガイドのタンザニア人が無線で仲間と連絡を取り合いガイドしてくれます。このガイド、長年の経験がものをいいます。僕



## 1) 今月の一枚 「マサイジャンプ」

Habari za Japan? みなさんいかがお過ごしですか。タンザニアは南半球のため、今がちょうど秋といったところですが、ここドマは朝晩が涼しくなり、過ごしやすくなりました。

には到底見えないところを指して、「あそこにライオンがいる!」「あの木の上にヒョウがいる!」びっくりする視力の良さです。ライオンの狩りやヌーの大群、象の家族、道を渡るキリンなどの動物が様々な表情を見せてくれました。

ンゴロンゴロ自然保護区はマサイ族の居住が認められた唯一の場所で、マサイ族が歩いているすぐそばでシマウマやトムソンガゼルが草を食んでいるという光景を見ることができます。見どころはンゴロンゴロクレーター。ここンゴロンゴロクレーター内は高い山に囲まれて、外界と隔絶されており、ほぼすべての動物たちがクレーター内で一生を終えるらしい。またここにいるヌーも（ヌーは大移動をすることで知られている）移動をせず、ここで一生を過ごすようです。びっくりしたことは、クレーター内に小道ができていたこと。ガイドによると、動物たちは決まった道を通るため、そこが道になるということです。

サファリの醍醐味はどんなことでしょうか。ある本によると「動物サファリはおよそわれわれの日常生活からかけ離れた世界とドラマが展開する。旅先の新しい環境が日常生活から異なっていればいるほど、今までの日常的な感覚、思考、生活から抜け出せる」

まさにその通りで、タンザニアに住んで一年、道端を歩くマサイ族やヤギや牛が道を歩いている光景など、大抵のことには慣れてきたようにも思っていたましたが、動物サファリでの日常にまったく新しい光景を目の当たりにして本当にリフレッシュできたように思います。



## 3) サファリ事情2「ザンジバル」

タンザニアには町自体が世界遺産に登録されているところがあります。それがタンザニア本土の東沖にあるザンジバルストーンタウン。ここは紀元前からインド洋貿易の拠点として、アラブ人やインド人が来訪、定住し、17世紀からはスルタンの支配を受け、インド洋の象牙、香辛料、奴隷貿易の拠点として発展し、イスラム文化とアフリカ文化がまじりあったスワヒリ文化を形成しています。

細い路地、白壁の建物、街を歩くイスラムの服を着た女性たち。人々の顔もアラブ系やアラブとバントウの混血

ストーンタウンの路地



など様々です。町並みはアラブ（行ったことがないですが）のようです。また観光客も多く、観光客向けのホテルやカフェ、お土産屋などもたくさんあり、とにかくこの一帯だけは想像のアフリカとはだいぶ異なった印象になっています。

高層建築物からの眺め



ですが忘れてはならないのが奴隷貿易の歴史。1873年に閉鎖さ

れた奴隷市場跡には大聖堂が建てられており、競売にかけられる前の奴隷を収容していた地下室も残されているなど、その歴史を知ることができます。

ザンジバルはダイビングのメッカでもあり、北から東、南海岸までがビーチリゾート化しており、海でのんびりすることもできます。このように素晴らしい観光資源もあるタンザニア、みなさんもぜひ Karibu（ようこそ）！

#### 4) 病院でストライキ

今年1月末、賃上げなどの待遇改善を求めてタンザニアの国立・州立病院に勤める医師によるストライキがありました。今回は緊急搬送の患者も受け入れない、とかなりの強行策でした。聞いたところによると給料未払いは当たり前、15年働いても給料が上がらないなど、金銭面の不満が強いようです。そして完全な人材不足。病院は研修医のマンパワーによってなんとか回している状態です。また機材の不足など、数えるときりがありません。加えて国会議員の国会開催中出席手当の引き上げがニュースとなり、これまでの不満が大爆発したとのことです。今までは一日70,000Tsh（約3500円）、これが200,000Tsh（約1万円）になるとのこと。一般庶民の一月の給料は200,000Tsh以下。

奴隷市場跡モニュメント



ちなみに医師の夜勤手当が一日10,000Tsh（約500円）

このストはタンザニアで一番大きな国立病院から始まりタンザニア全土に波及、タンザニアの国立病院、州立病院の医師による診療



がストップする緊急事態へと発展しました。もちろんドドマ州立病院でも緊急会議が行われましたが、幸い院長の一声で当院の診療は継続されることとなりました。ひとまずはほっとしたもの、タンザニアのいくつかの国立・州立病院ではストライキが継続され、多くの方が亡くなったとの情報があります。このストライキ、最大で17日続いた病院がありました。現在は政府が待遇改善を約束したためにストは沈静しましたが、経済の低迷が続いているタンザニアでは今後もストが頻発する可能性は大いにあります。

#### 5) 今月のスワヒリ語「スワヒリタイム」

タンザニアではすべてのことがのんびりしています。約束を守らない人々、時間通りには始まらないパーティなど。最近レストランで遅れてくる食事や、いつまで経っても届かない注文の品に対しても、受け入れている自分に気づき、だいぶスワヒリタイムに慣れてきたな〜と、スワヒリタイムとはイスラムの影響を受けた時間の呼び方です。

朝7時を1時（Saa moja）と呼びます。当然朝8時は2時（Saa mbili）。夕方6時は12時（Saa kumi na mbili）なわけです。これだけ聞くと意味がさっぱり分かりませんが、スワヒリ文化では朝の7時が一日の始まりで、夜の7時が夜の始まりの1時と考えているらしく、スタートだからMoja（1）と数えだします。あとはこれにSaa（時間）をつけて、朝のasubuhi、昼のmchana、夕方のjioni、夜のusikuがつくわけですね。つまり、朝7時なら「Saa moja asubuhi」。夜19時なら「Saa moja usiku」。ここに来た当初はこの時間の概念に慣れなくて、時間を約束する時は何度も確認をしていたことを思い出します。

#### 6) NINAFIKIRI HIVYO「最近思うこと」

最近タンザニアの生活、医療状況を考えて患者さんと接することができてきたように思います。患者さんはどれくらい遠くの村から来ていて、生活状況はどの程度で、ドドマの周辺でどのような医療サービスを受けることができるのか、生活状況や身体状況に合わせた現実的なプランはどうしていけばいいのかなど。また病院内の各職種の役割もようやく分かるようになり、ドクターとの会話、ソーシャルワーカーへの相談なども少しずつできるようになってきました。現状を理解し受け入れることで、何も分からない状況で、ただ一人悩んでいたころとは違う達成感があります。

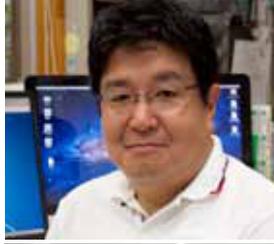
最近の活動の楽しみは、同僚とともにチームワークをしっかりと組むことです。というのも、がんばってドドマ州立病院の理学療法部を良いものにしようという話をすることが少し増えてきたためです。活動開始から1年が経過して、ようやくチームの一員となれたのかと思うと、残りの活動任期9カ月を短く感じる今日この頃です。

## ひろせ整形外科リハビリテーションクリニック

クリニック探訪

土佐市蓮池 1004 番地 〒 781-1105  
TEL.088-828-5052 FAX.828-5053

整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科  
廣瀬大祐院長（土佐市出身）



▶アクアメディカルフィットネスクラブ併設

運動器を中心としたかかりつけ医としてクリニックを中心に健康増進施設、通所リハを併設しています。プールはリハビリ患者さん以外、一般の方も利用できます。



プールでは水中歩行のほか、水泳、アクアピクスなど各種教室があります

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 ~ 12:30	●	●	●	●	●	●
午後 14:30 ~ 18:00	●	●	／	●	●	／

休診日：土曜午後、日曜、祝日。水曜午後は手術、往診



## 高松矯正管区長より 感謝状をいただきました

近森病院第二分院精神科  
作業療法室室長 山内 学



高知刑務所所長より  
感謝状を受け取る山内室長（右）

講師として高知刑務所内で就労支援指導に従事したことに対して、7月19日（木）に感謝状をいただきました。今後も「社会を明るくする運動」に積極的に参加していきます。 やまうち まなぶ

で、よく眺めに行っています。

### 2012年6月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	17,595 人
新入院患者数	779 人
退院患者数	793 人
近森病院	
平均在院日数	14.41 日
地域医療支援病院紹介率	89.34 %
救急車搬入件数	415 件
うち入院件数	213 件
手術件数	400 件
うち手術室実施	274 件
→うち全身麻酔件数	157 件

● 平成 24 年 6 月度県外出張件数 ●  
件数 82 件 延べ人数 163 人

### 編集室通信

サッカー好きにはたまらないイベントが続く。男子のワールドカップ最終予選、などこのロンドンオリンピックなど世界レベルとの試合をTVで何試合も見ることができて嬉しい。今はほとんどの試合をTVで見ることができるが、サッカーを始めた30年前は少ない録画放送をビデオ録画して何度も繰り返し見ましたことを思い出す。 (かつお)